◆整形外科

部　長　西口雅彦

2007年度よりみすみ病院に整形外科常勤体制が始まり、昨年は２年目を迎えた。

高齢化・過疎化の進む宇城・三角地区であるが、当院整形外科のニーズは高く、2008年度はさらに地域医療に貢献できた。

外来回数をまず週４回に増加し、地域のニーズに応えた。外来ではMRIや骨密度測定など画像診断機器を用いて正確な診断を心がけ、関節内注射や神経ブロックなど除痛効果の高い保存療法を選択し、それでも改善しない症例は積極的に手術を勧めてきた。当院では高齢者の骨折、変形性膝関節症、骨粗鬆症が主要臨床テーマである。2009年度も地域で支持される整形外科診療を行っていきたい。

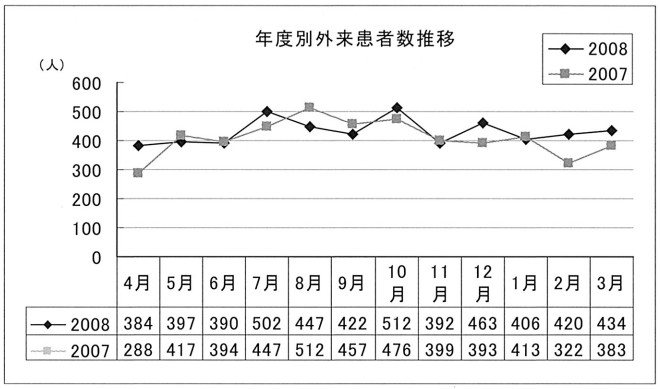
外来患者数の増加（図１）に伴い、手術件数も増加（図２）した。2008年は、大腿骨転子部骨折に対し骨接合術22例、大腿骨頚部骨折に対し人工骨頭置換術16例を行った。入院当日に骨接合術を行った症例もあり、早期離床を目指している。

人工関節は、人工膝関節置換術（TKA）42関節、人工股関節置換術２関節、人工肩関節置換術１関節を行った。

脊椎外科では、頚髄症に対し頚椎棘突起縦割脊柱管拡大術２例、腰部脊柱管狭窄症９例を行った。その他の骨接合術を28例行った。結果は総手術件数197例で、前年度より52例（35.9%）増加した。

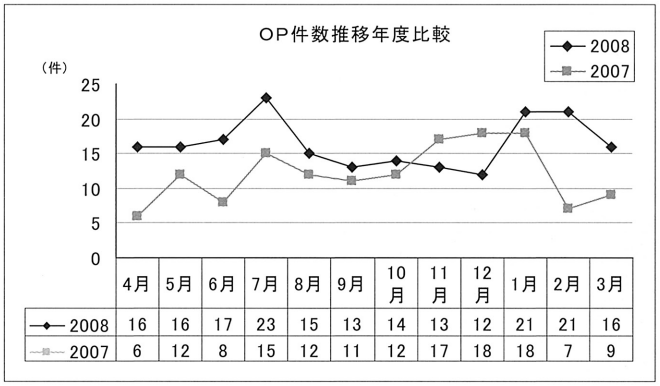
大腿骨頚部骨折やTKAは手術症例の増加に対し、クリニカルパスを導入し入院・手術の標準化を行い、成果を上げた。

私のライフワークであるTKAも42例を超え、昨年度の倍以上となり当科の看板手術となった。特に臨床的研究テーマである安全な TKA とその対策を論文にまとめ、英文誌に掲載できた



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2008	384	397	390	502	447	422	512	392	463	406	420	434
2007	288	417	394	447	512	457	476	399	393	413	322	383

（図１）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2008	16	16	17	23	15	13	14	13	12	21	21	16
2007	6	12	8	15	12	11	12	17	18	18	7	9

（図２）